

Green infrastructure × Recycle

私たちは「都市の緑化基盤を創出する場所」で、
『リサイクル及び地域振興の素材を利用した商品』を
提供していくことでグリーンインフラ構想に貢献していきます。

屋上緑化

外構緑化

雨水一時
貯留基盤

芝生広場

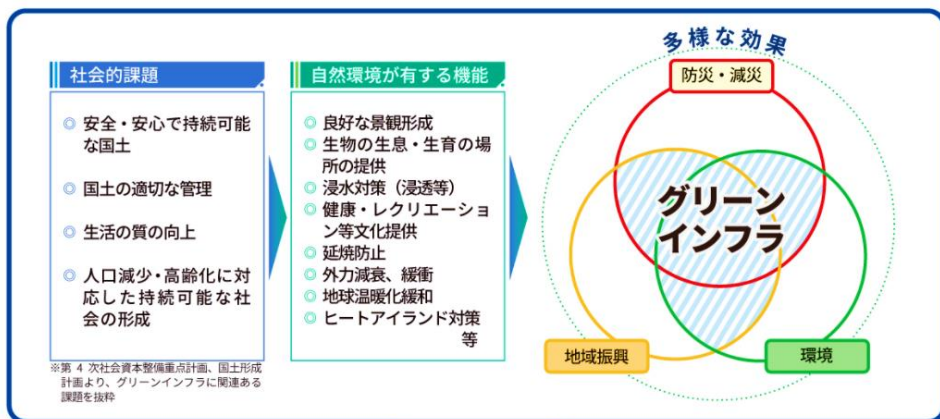
Builmatel
ビルマテル

街路樹基盤



グリーンインフラ概要

グリーンインフラとは



◎ 防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応

◎ 持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

【図】グリーンインフラの考え方

グリーンインフラを取り巻く国内外の動向（国外事例）

○グリーンインフラは、米国で発案された社会資本整備手法で、自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用するという考え方を基本としており、近年欧米を中心に取組が進められている。

○導入目的や対象は、国際的に統一されておらず、非常に幅広い。

一米国では都市の緑地形成（雨水管理等の観点）に力点を置いている一方、英国は様々な利益を得ることを目的。また、EUでは生物多様性保全、カナダやOECD (Green Growth) では、低炭素を含む環境問題全般を対象。

米国事例 <ポートランドの取組>



高層ビルの屋上緑化
雨水管理だけでなく、屋根を保護する効果なども期待されている。



Green Street
道路沿いの緑地の緑を一部空けて、緑地内に雨水を流し込む仕組みになっている。

欧州事例 <公共施設の緑化>



廃線の緑化(フランス)
廃線後も線路は残し、周囲を再整備することで、レクリエーションや生態系観察の場として市民に利用されているほか、治安向上の効果もある。



並木道等(スペイン・バルセロナ)
バルセロナ市のグリーンインフラと生物多様性に関する戦略に基づき、並木道を含め、都市の自然空間毎に、自然環境の機能が評価されている。

<ニューヨークの取組>



屋上緑化面積に応じた固定資産税減税措置が図られている。



補助金事業により、Rain Gardenとして再整備されたQueens Collageの広場
下水道エリア内の私有地を緑化し、雨水管理に貢献することに対して助成金が支払われる

<自然環境の保全>



良質な生態系保全のための空き地の活用



都市近郊の河川
連続した生物の生息地のために重要

出典：国土交通省総合政策局環境政策課調査



Gallery

弊社の商品をご採用いただいた現場施工例



■虎ノ門ヒルズ 様



■国立競技場

写真提供:大成建設株式会社 様



■東京ミッドタウン日比谷 様



■国立国会図書館 国際子ども図書館 様

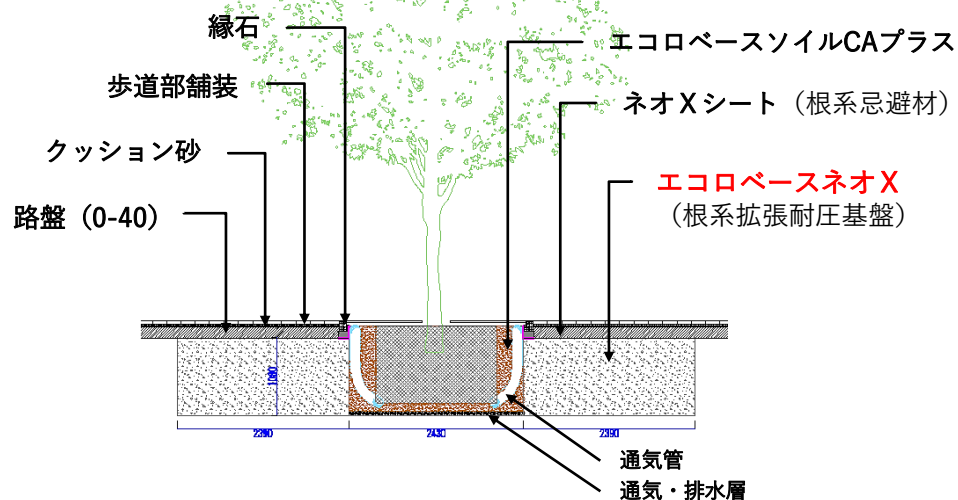


■The Okura Tokyo
株式会社ホテルオークラ東京 様



街路樹基盤

根上がり対策 雨水一時貯留基盤



根系拡張耐圧基盤 エコロベースネオX



路盤や路床部分は転圧されるため、植物の根は伸長しづらい環境になります。

※水が浸透せず、酸素も供給されにくくなります。

健全な植栽基盤を作るためには、樹木サイズに合わせた土壌量を確保する必要があります。

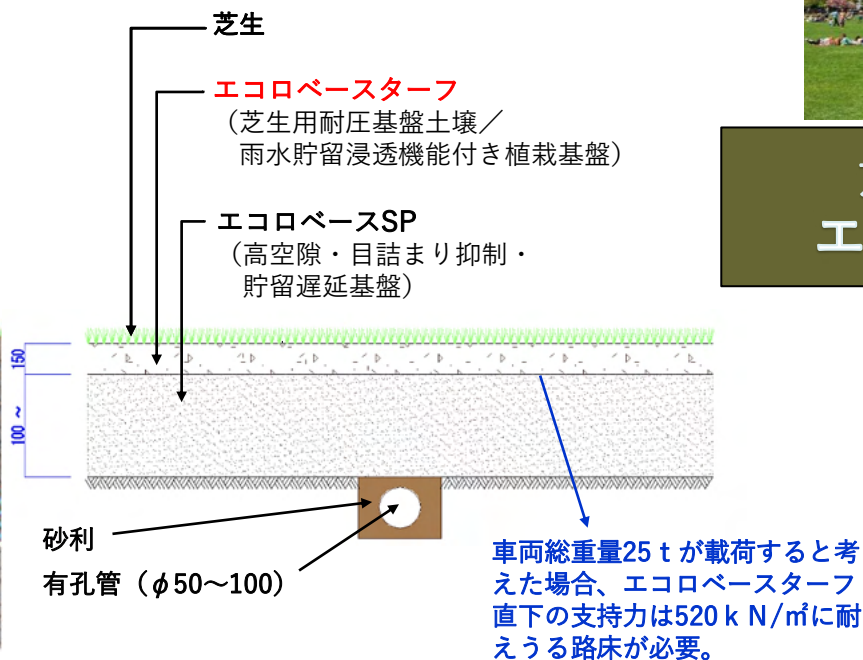
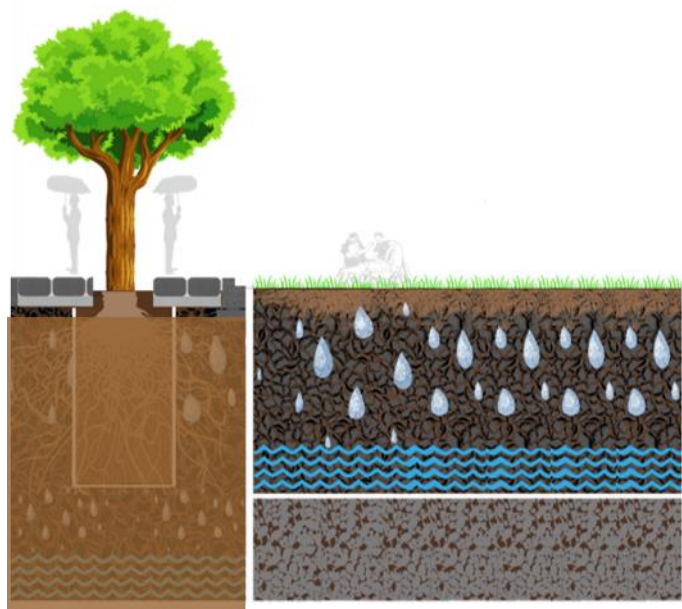
この工法により植物の根を舗装下にも拡張し、転圧した状態でも根の張るスペースを確保することが可能になります。

エコロベースネオXは空隙率が高く、雨水一時貯留としての機能も併せています。



芝生広場基盤

芝生耐圧基盤＋排水改善 雨水一時貯留基盤



芝生育成用耐圧基盤 エコベースターフ



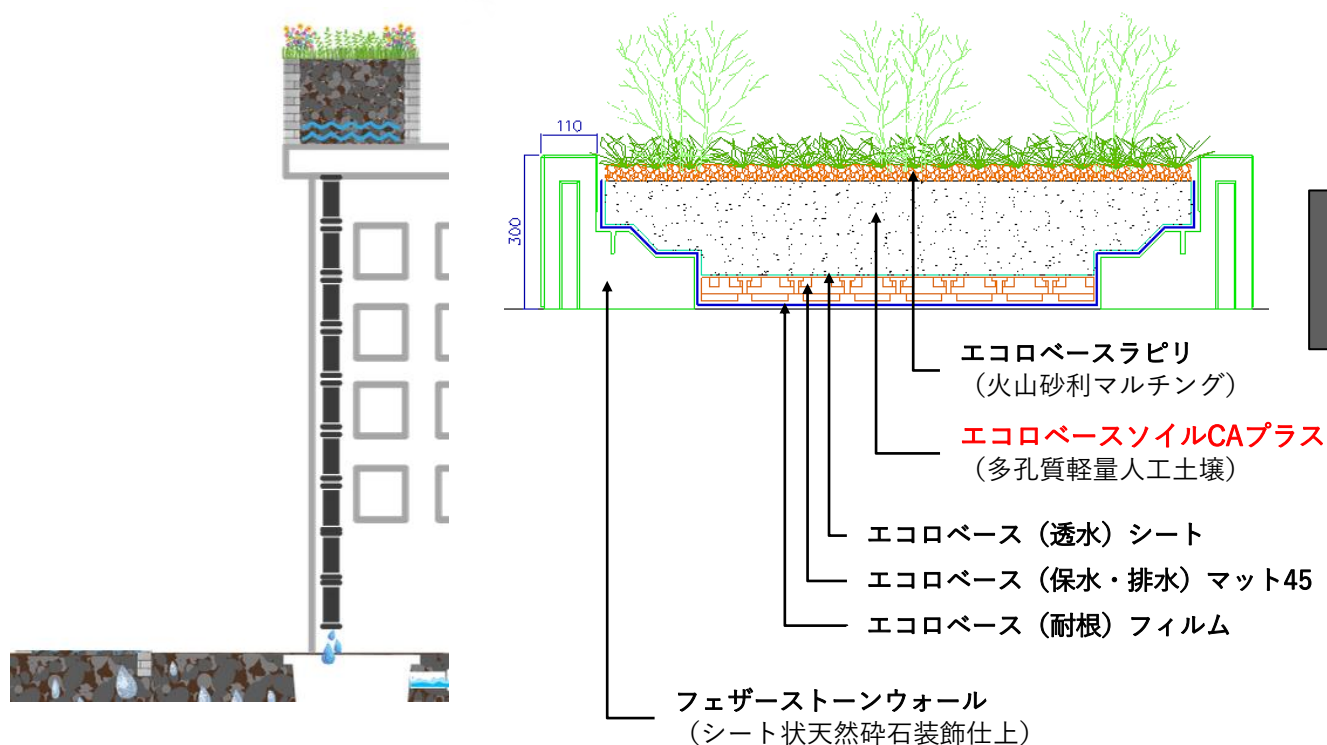
芝生広場では踏圧等で土壌が締め固められ、根が伸長しづらい環境になります。
水が浸透せず酸素が供給されにくくなり、加えて、土壌が締め固められる状況では、排水不良より水が溜まりやすくなります。

この工法により土壌が締め固められても芝生の生育に必要な空隙が確保できます。
排水性能が向上し、加えて耐圧基盤としての性能があるので、緊急車両の乗り入れも可能になります。
エコベースターフは空隙率があり、雨水一時貯留としての機能も併せています。



屋上緑化

軽量リサイクル土壌 屋上植栽基盤



多孔質軽量人工土壌
エコベースソイルCAプラス

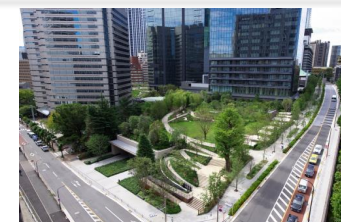


屋上緑化では、通常の土と比べ約半分の重さの軽量人工土壌が使われています。
エコベースソイルCAプラスは通気・透水性に優れていて、粘性も少なく施工性にも優れています。
都市で排出された素材を活用して、土壌として都市に還元し、リサイクルにも貢献しています。
さらに、直接コンクリートに土壌を設置するのではなく、貯排水ボードを土壌下に設置することで、貯水と余剰水の排水に考慮しています。



外構緑化

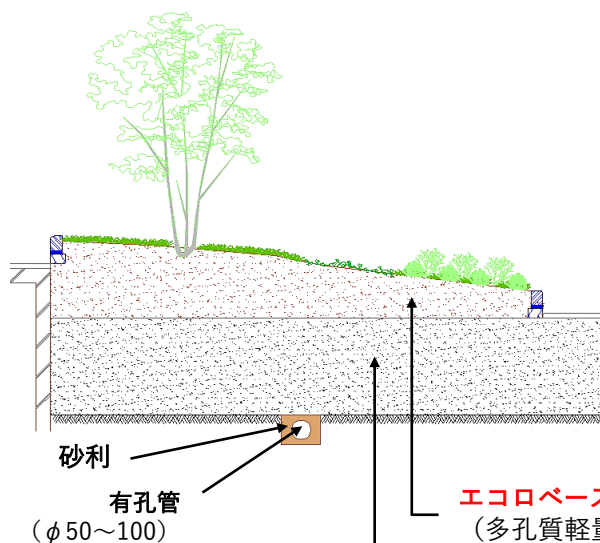
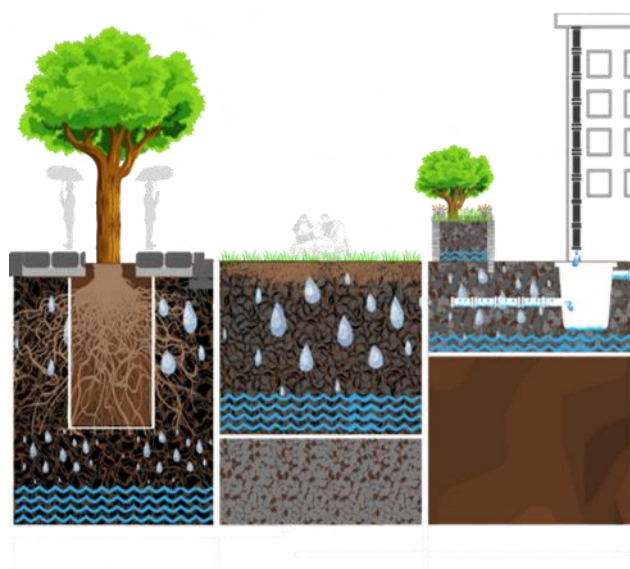
軽量リサイクル土壌
外構植栽基盤土壌
雨水一時貯留基盤



多孔質軽量人工土壌
エコロベースソイルCAプラス



多孔質無機軽量人工土壌
エコロベースSP



エコロベースソイルCAプラス
(多孔質軽量人工土壌)

エコロベースSP
(高空隙・目詰まり抑制・
貯留遅延基盤)

近年、大規模な建築外構においてもコンクリートで地盤と縁を切られた場所が多く、屋上緑化と同様に、軽量人工土壌が使われるケースが増えています。

外構客土としてもエコロベースソイルCAプラスは赤黒土よりも排水性能が高く、雨の中でも泥になることがなく施工性にも優れた土壌です。

エコロベースSPは締め固めた状態でも空隙率が高く、雨水一時貯留としての機能も併せていますので、外構植栽基盤土壌として最適です。

COMPANY 会社紹介

会社概要

名称 ビルマテル株式会社

創立年月日 1966年10月20日

資本金 4,000万円

本社 〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町1-7-5
日経茅場町第二別館2階
TEL:03-5847-8551(代表番号)

営業所兼工場

〒136-0082
東京都江東区新木場3-4-14

若洲ヤード

〒136-0083
東京都江東区若洲1-1-15 若洲建材埠頭内

事業概要

環境緑化事業部

造園用資材の製造・販売・施工を行っています。主力製品であるエコベースソイルCAプラスはリサイクル率100%の軽量土壌です。軽量土壌取扱量は関東において業界1位になります。

知財コンサルティング事業部

知的財産権の取得・製品化を行い、ライセンスや自社販売を行っています。

自社開発の熱中症対策製品



私たちは「都市の緑化基盤を創出する場所」で、
『リサイクル及び地域振興の素材を利用した商品』を
提供していくことでグリーンインフラ構想に貢献していきます。



ビルマテル株式会社とSDGs

SDGsが発足する以前から、ビルマテルは経営理念
「**優しい環境を創造し、お客様に喜ばれ、社員が誇れる企業**」に基づいて、サステナブルな社会の実現に貢献してきました。

SDGs(持続可能な開発目標)には、ビルマテルがすでに取り組んできた開発やテーマが多く組み込まれており、これからもこの目標の達成に向けて貢献いたします。



